

## パブリックコメントへの対応について

NO.	意見（要旨）	対応（案）
1	<p>推進計画が、全体的に総花的で具体的な特徴が見られない。もっと、取捨選択して骨太の事業にまとめるべきである。</p> <p>介護サービスについても、出来ること・出来ないことを明確にして本当の弱者の方に手厚くしていただきたい。</p> <p>介護対象者が居住する住宅の改築（手すり・スロープ等）の必要性や補助費用について非常に検討の余地があると感じている。（無駄な経費の削減を図ってほしい）。居住の内外に補助金を利用してスロープ等を設置したにも関わらず要介護者の方が半年あまりで他界してしまう例が多くあります。</p> <p>世間では、消費税の問題が度々話題になりますが、介護保険料については全くといっていいほど報道がありません。年金生活の高齢者にとって、本当に保険料が高額で家計を圧迫しています。限られた財源ですので、もっと節約し大切に使用していただくようお願いいたします。</p>	<p>基本理念、基本目標の実現のために必要と考える施策を据えました。計画期間中を通して、関係者の皆様のご意見を踏まえて計画・実行・評価・改善のPDCAサイクルにより、より具体的で効果的な事業運営となるよう努めます。</p> <p>ご意見を承ります。適切な介護保険制度の運営に努めてまいります。</p>
2	<p>超高齢化社会、コロナ後の社会はみんなが自分ごととして考え、各人ができることをしていく地域共生社会を目指すのは間違いありません。</p> <p>文中、生活支援コーディネーター、安心相談支援センター、地域包括支援センター等ありますし、福祉関係では民生委員、福祉協力員等の仕事もあります。一人の住民に対し社会福祉協議会、地区公民館、自治公民館等各機関がどのような位置にありそれぞれの果たす役割、各人が協力できることを市の俯瞰とともに1市民としての整理が必要かと思っています。</p> <p>福祉と医療・介護はひとつづきのものなので、わかりやすいイラストや図表を希望します。</p> <p>また、啓発・周知の学習活動が必要と思います。</p> <p>第4章の評価指標の出典・根拠について</p> <p>第4章①高齢者が活躍できる場づくり 「地域において何か活動している高齢者の割合（％）」とありますが出典を明らかにされてはどうでしょうか。</p>	<p>ご意見の内容は、本計画の上位計画となる「倉吉市地域福祉推進計画 第4期計画」の中でそれぞれの役割が記載されています。実現に向けて取り組んでいきます。</p> <p>●意識調査の出典と調査対象者を記載しました。 なお、評価指標「高齢期も安心して暮らせると思う」について、回答者20歳以上市民の集計結果に加えて65歳以上市民に限定した集計結果を追記しました。</p> <p>「地域において何か活動している高齢者の割合（％）」 →「市民意識調査」（回答者：65歳以上）による</p> <p>「高齢期も安心して暮らせると思う」 →「市民意識調査」（回答者：20歳以上）による</p> <p>「主観的健康度の高い市民の割合」 →介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査（回答者：要介護・支援認定を受けていない65歳以上）による</p> <p>「主観的幸福度の高い市民の割合」 →介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査（回答者：要介護・支援認定を受けていない65歳以上）による</p>

NO.	意見（要旨）	対応（案）
	<p>第4章②在宅生活支援の促進 「高齢期も安心して暮らせると思う 74.4%」の根拠は？ 個人的には車の運転ができなくなり1人暮らしになると買い物や通院など不便で積雪時の除雪もままならず不安です。地区や本人の健康状態により安心感はかなり異なると思います。第4章施策③介護予防の充実における「主観的幸福度の高い市民の割合 目標値 50%」とも乖離していると思います。</p>	<p>●2つの指標の数値の乖離について ・乖離がある要因の一つとしては、調査対象者の範囲が異なる意識調査であることがあります。 ・その他要因としては、「安心」は感じるが「幸福」を感じるまでには及んでいない等、「安心」と「幸福」の捉えの違いがあると考えます。また、「安心」については要介護認定を受けている高齢者も調査対象に含まれていることから、介護保険サービス等を受けることが「安心」に繋がっていることも考えられます。 ・日常生活圏域ごとの特性も踏まえながら、多角的な指標のもと、必要な施策を進めていけるよう努めます。</p>
	<p>第4章施策③介護予防の充実 ④認知症との予防と共生一般の市民にわかりやすい表記をしてください。 ・KDBシステム ・ACP</p>	<p>次のとおり修正しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「KDBシステム」 →「KDB（国保データベース）システム」</li> <li>・「ACP」 →「ACP（人生会議）」</li> </ul>
	<p>第4章②在宅生活支援の促進 ・「75歳以上・100歳以上の高齢者を対象とした敬老事業」の意味がわかりません。個人的には敬老事業は不要、少なくとも75歳は不要と思います。市長等の労力、予算は他の困っている方に振り向けてあげてください。APU学長の出口治明氏も敬老より次世代支援と言われています。</p>	<p>次のとおり修正しました。 「75歳以上の高齢者を対象とした敬老事業、100歳以上の高齢者を対象とした敬老の日記念事業を行います。」 なお、敬老事業のあり方については検討を行います。</p>
3	<p>第4章の各施策の取り組みについて、どの施策においても医療の協力が必要と感じます。特に、介護が必要となるよりも早い段階で医療従事者（医療機関）から高齢者へ介護予防などの活動について紹介していただけるような仕組みが出来れば良いと思います。</p>	<p>ご意見承ります。医療との連携については、各施策を通じて必要な視点と認識して、今後の取り組みを進めます。</p>